

Catchy

Catch

2025
5.7wed— 8.3sun

10:00-18:00 月・火曜定休

キ
ヤ
ツ
チ

ロゴタイプやシンボルマーク、TV番組のタイトルロゴや商品のキャッチコピーなど。

人を惹きつけ印象を残すためにデザインされたキャッチーなそれらに、私たちは当たり前に触れながら生活をしています。それらは、さりげなく私たちを捕らえ、記憶の中に静かに根付きます。例えば、ロゴマークを見ただけで企業名が頭に浮かび、耳に残るキャッチフレーズをついつい口ずさむ。懐かしのTV番組のタイトルロゴを目にすれば、自然と当時の映像が頭の中に浮かんできます。

本展で紹介する富田晃生とM.O.は、それらにただ捕まるだけではなく、根付いた記憶をモチーフに、それぞれ独自の手法でアウトプットし続けてきました。

富田は、幼い頃にTVで見たロゴマークの記憶から、厚紙をカラージュしていき、透明なテープでぐるぐる巻きにコーティングした作品を作り続けています。そして、出来上がった作品は新旧問わず大量に保管されています。一方のM.O.は粘土で、その時々で気になっているキャッチフレーズなどを作業机の上に造形していくのですが、仕上がった作品をすぐさま粘土の塊に戻してしまいます。その為、M.O.の作品は1つも形を残しておらず、施設職員が撮影した記録だけが残っています。そんな彼らそれぞれの豊かな営みもまた、私たちが惹きつけるキャッチーなものなのではないかと考えます。この展覧会をキャッチしてくださる方々への想いも込めて、名前をCatchy Catch(キャッチー キャッチ)としました。

M.O.

M.O. 制作風景



えむ・おー / 1979年生まれ・大阪府在住

2008年から通い始めたワークセンターとよなかにて、粘土に触れるようになり、テレビ番組のタイトルロゴや雑誌で見たキャッチコピーなどを高い精度で再現するようになった。出来上がった作品は、彼の意思で残されることはないが、施設職員の撮影によりインスタグラムアカウント@m.o.clayartにて公開されている。

《企画協力STAFF21(キテツク大百科ED-はじめてのチュウ-より)》
2021年 | 透明テープ、厚紙、段ボール | 185×737mm



富田 晃生

とみた・あきお / 1989年生まれ・京都府在住

3歳の頃からテレビで見た企業のロゴに興味をもち、5歳になるとスケッチブックにロゴばかり描くようになった。14歳の頃には厚紙を切り貼りしカラージュ技法にて制作するようになり、20歳から天才アートKYOTOに通い、本格的に制作・発表を始める。作品数は現在に至るまで1,000点以上にもなる。

art space co-jin

きょうと障害者文化芸術推進機構

〒602-0853
京都市上京区河原町通荒神口上ル
宮垣町83 レ・フレール1階
Tel & Fax : 050-1110-7655
Mail : info@co-jin.jp
URL : https://co-jin.jp
X(旧Twitter) : @artspacecojin
Facebook : @artspacecojin
Instagram : @artspacecojin

